

令和2年度第1回成田市環境審議会会議録

1 日 時 令和2年7月27日(月)午前10時00分～午前11時50分

2 場 所 成田市役所 6階大会議室

3 出席者

(委員)

本橋敬之助会長、片岡孝治副会長、富井征夫委員、藤村葉子委員、小島猛委員、宮崎廣文委員、石川佳司委員、佐久間房子委員、河野元委員、須田恭子委員、根本祥宏委員、幡谷公生委員、菅澤麗子委員、田中昌子委員、入江龍夫委員、丸千恵子委員、林大八郎委員

(成田市)

小泉市長

環境部 宮本部長

(事務局)

環境計画課：保立課長、松崎課長補佐、佐久間係長、清水係長、吉田主査、中里主査

(説明員)

環境対策課：鶴澤課長、鈴木係長、椎名係長

クリーン推進課：西宮課長、北崎副参事、山倉係長

環境衛生課：加藤課長

4 傍聴者 4名

5 会議次第

1. 開会

2. 市長挨拶

3. 議事

(1) 「成田市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例施行規則」

に定める安全基準の改正について

(2) 令和2年度環境部の概要について

(3) 2018(平成30)年度 成田市環境基本計画年次報告書について

(4) 2018(平成30)年度 成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告書について

(5) 成田市役所エコオフィスアクション(第4次成田市環境保全率先実行計画)(平成30年度)結果について

(6) その他

4. 閉会

【小泉市長】

皆さんおはようございます。本日は暑い中そしてお忙しい中、成田市環境審議会にご出席をいただき誠にありがとうございます。本橋会長をはじめ委員の皆様方には、日頃から本市の環境行政の推進にご協力いただいていますこと、この場をお借りしましてお礼を申し上げます。

さて、現在地球温暖化や海洋プラスチックのごみ問題など地球規模で環境問題が深刻さを増しております。こうした背景を踏まえまして、国では今月1日から消費者のライフスタイルの変革を促すため、レジ袋の有料化が始まりました。また、先日開かれましたプラスチックごみ削減やリサイクル促進の具体策を検討する国の有識者会議では、家庭から出る容器や包装以外のプラスチックごみについて新たな分別区分として、プラスチック資源と位置付けまとめて回収することを自治体に要請するとの基本方針が示されております。

本市におきましても、ごみの減量化など様々な環境問題への対応が求められていることから、引き続き、市民・事業者・市の三者が協力してごみ処理の適正化や地球温暖化など、環境問題に取り組んで参ります。

本日、委員の皆様にご審議いただく内容は、「成田市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例施行規則」に定める安全基準の改正について諮問させていただき、その後、環境部における事業の概要及び各種計画の進行管理の状況等についてご報告させていただきます。

委員の皆様方には、ご忌憚(きたん)のない意見を賜りたく存じます。

結びにあたりまして、委員の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

【本橋会長】

では、議題の(1)「成田市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例施行規則に定める安全基準の改正についての審議に入りたいと思います。担当課の説明を求めます。

【鵜澤環境対策課長】

説明員から「成田市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例」について説明

【本橋会長】

ただいまの説明につきまして、ご質問等ございましたら、挙手してお願いします。

【林委員】

改正することにつきまして異論はありませんが、質問として強化することになった理由を伺いたいと思います。その根拠ですが、「成田市環境」という冊子の中で触れているところがありまして、156ページですが、市町村条例優先適用と記載されたところでありまして、かなり市として設定できる条例のように読み取れますが、そういう意味では国が改正したから、そのまま改正することは当然かもしれませんが、もし、市として必要であれば更に強化できる可能性のある条例だと思しますので、国が変えたから変えるというものでもいいと思いますが、なぜ強化なのかというところで、測定器の測定限界が変わることは基本的にあると思いますが、そうでなければ何かの危険要因が見つかったために変えるのか理由を伺いたいと思います。それから、もう一点ですが、「成田市環境」の129ページから131ページに表が二つあります。ひとつは諮問の資料にある部分ですが、もう一つの表9-3で土壌汚染対策法における特定有害物質及び指定区域の指定基準についても改正する必要があると思しますので、お答えいただければと思います。

【鵜澤環境対策課長】

今回の改正ですが、土壌汚染に係る基準の改正でございます。土壌汚染の基準に関しましては、まず水質の基準が改正されておりまして、国で「カドミウム」、「トリクロロエチレン」を含めて6物質について諮問・答申され改正されております。

土壌に関する基準につきましては、設定可能なものにつきまして、水の関係を含めて改正していくような考えですので、今回、国の中央環境審議会から「カドミウム」、「トリクロロエチレン」について方針が出されたということで、それに基づいて改正するものです。

今回の改正につきましては、土壌汚染に係る基準が改正されまして、成田市で引用している部分は、土壌汚染の関係のみですので、条例施行規則を改正するものです。

また、「成田市環境」に掲載されている表につきましては、国の環境基準をそのまま掲載しておりますので、来年の4月1日に施行された段階で新しい基準を掲載いたします。

【本橋会長】

他に質問はございませんでしょうか。

無いようですので、答申について私から提案させていただきます。

今回の審議内容は、国が「土壌の汚染に係る環境基準等について」見直したことに付随して行う市の条例規則の見直しについてであることから、「市の案に同意する」として、「付帯事項は付けない」こととして答申したいと思います。

また、答申書につきましては、私に一任いただきたいと思います。

(異議なし)

ありがとうございます。答申書の内容につきましては、委員の皆様には当局からご郵送させていただきます。

それでは、次の議題に移りたいと思いますが、今回の審議会における議題はご案内のとおり数が多いこと、各議題についての資料は既に委員の皆様には送付され一読されており、また質問等が当局に寄せられていることや審議時間が限られていることから、議題（２）の「令和２年度環境部の概要について」から議題（５）の「成田市役所エコオフィスアクション(第４次成田市環境保全率先実行計画)(平成３０年度)結果について」まで事務局からの一括説明とし、併せて関連する各資料に対し各委員から寄せられた質問・意見等に対する当局の考え方等を説明させていただきます。

では、お願いいたします。

事務局・説明員から「令和２年度 環境部の概要」について説明

事務局から「平成３０年度第３次成田市環境基本計画年次報告」について説明

事務局から「２０１８（平成３０）年度 成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告」について説明

事務局から「成田市エコオフィスアクション(第４次成田市環境保全率先実施計画)(平成３０年度)結果」について説明

【本橋会長】

ただ今の各議題に対して各課からの報告、そしてそれぞれの報告に対して、あらかじめ委員の皆様から頂いていた質問に対する当局の考え方の説明がありました。

更に、委員の皆様から質問がございましたら挙手してお願いしたいと思います。質問に際しては、議題に対して順不同ではなく1つずつ順番にお願いしたいと思います。

最初に、議題（2）令和2年度環境部の概要について、何か質問がございましたらお願いいたします。

【丸委員】

環境部の概要について、全体的に言えることだと思いますが、脱炭素という取り組みに見直すべきではないかなと全体を読んでそう思いました。

【保立環境計画課長】

はい、お答えさせていただきます。

今般、委員の皆様も報道等でご存じの通り、石炭火力発電の旧式のものとは全て使用しない国の方針が定まったと報道されております。

まず、エネルギーの発電に占める火力発電の割合は8割程あるということで、炭素排出の主な要因であると思われませんが、その中でも石炭火力の割合が高くなっております。140施設ほどある石炭火力発電の中で、旧式のもので100施設ほど使われているということで、国の方も脱炭素へ舵を切り始めていると、私どもも考えております。

地球温暖化の原因と言われております、「温室効果ガス」これは「脱炭素」というところと結びついていますので、これから計画の変更を進めていく中で「脱炭素」は大きなキーワードになると考えております。

【本橋会長】

時間も迫っていることから、議題（2）に関しましては一応審議終了といたします。

次に、議題（3）の「2018（平成30）年度 成田市環境基本計画年次報告書について」当局の説明と、各委員からの質問に対する当局の考え方、それに対して更なる質問がございましたら、

お願いいたします。

【丸委員】

5 ページの計画が進める重点プロジェクト取組内容のところ、質問ではないのですが、僭越(せんえつ)ながら提案という形で述べさせていただきたいと思います。リデュースの普及に一番力を入れるべきだと思います。市民にはやはりごみを増やさないように呼び掛けていかないと、成田市のごみは本当にこのまま増え続けて、とても税金の無駄遣いになると思います。私がずっと注目している徳島県の上勝町というところですが、こちらはごみに対してすごく取組みが素晴らしくて世界から注目されているところで、人口が1,500人と成田市とは比べ物にならないくらい小さな町ですが、市民がごみに対してすごく活動していきまして、ごみの分別が45項目もあり、年間300万円の収益を生んでいるそうです。資源が1kg当たりどの程度の収入になっているのか、処分などの程度のコストがかかるのかということをも市民向けに明記されていて分かりやすく掲示していきまして、それで市民はモチベーションが上がるようです。成田市には「さんあ〜る」という素晴らしいアプリがあって、私も活用していますが、そういったアプリも利用してどれだけ成田市のごみが切迫している状態だということや、資源にこれだけ回っているということも分かりやすくアプリでお知らせしていただけたら、主婦もごみの分別に頑張れると思います。私たち色々ごみについて主婦は話をしますが、富里と同じ焼却炉で燃やしていて、富里はプラスチックの分別がされていないようですが、何故、成田市は白と青で分けなければいけないのかという素朴な質問があります。すごく素人の質問ですが、こちらの方も市民は疑問を抱えたまま分別を頑張っていますので、見えるようにどのような対策をしているのだとか、成田市はこういう状態で逼迫(ひっぱく)していることを伝えていただけると市民も頑張って活動できると思います。以上です。

【西宮クリーン推進課長】

丸委員のおっしゃるとおり、リサイクルの現状の理解が環境問題への意識高揚につながる部分は大きいものと思われます。

市の取り組みとしまして「広報なりた7月15日号」で特集記事を掲載させていただきまして、現在、市のごみの発生量が国県と比較して多いこと、また、リサイクル率が低くなっていることそう言ったことを情報提供させていただき、ご理解していただけるよう努めて参りました。

また、ご提案ありました、ごみの分別アプリ「さんあ〜る」では、機能を活用し市民の方々にわかりやすいよう情報の発信をしていければと考えております。

【本橋会長】

丸委員がおっしゃるように、自分たちのやっていることが分かるようすることは大事ですので、よろしくをお願いします。

【片岡委員】

質問というより、お願いになると思いますが、8ページ、プロジェクトIの生き物・里地里山のふれあいづくりの3番目の選定について、未選定・未指定ということになっており、私も愕然(がくぜん)としたのですが、まだ成田にこういう拠点ができるのかというのは非常に残念で、やはり早急にこういう拠点を作って、素晴らしい空港を抱える観光地ですし、それによく行くと色々なところで皆さんよく歩かれていますので、そういう素晴らしい環境を外国の方だけではなくて市民、すべての方が楽しめる場所を早く作っていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

【保立環境計画課長】

はい、未だにふれあい拠点の選定ができていないことは、大変申し訳なく思っているところでございます。

現在、成田環境ネットワークという団体がございまして、その事業の中で自然観察教室を年に4回やらせていただいております。これは子供向けに自然を大切に環境を守っていくなどのことは小さい時から教えていくことが重要ではないかと考え、坂田ヶ池総合公園などを活用して昨年度、生物多様性などを勉強するための教室などを開催させていただきました。

また、一般の方々向けには、公津の杜の里山、成田山公園なども自然を楽しんでいただくということでやらせていただいております。

そういった活動を通じてふれあい拠点の選定をさせていただきたいと、考えておりますのでよろしくお願いたします。

【丸委員】

8ページの特定外来種対策・有害鳥獣対策の推進についてですが、イノシシの捕獲が増加しているということで、箱罟を増やしていただいたり、電気柵の事業補助金の申請を速やかに厳粛(げんしゅく)にお願いしたいと思います。あと、害獣と戦う農村集落づくりとありますが、野生動物の住み

かを奪った結果が今の問題だと思えます。戦うから共生へという認識で、環境保全、健康な森へ戻すための植林とかそういう風に方向を変えていったらどうかと思えます。それと、お願いですが、我が家の畑にもすごくイノシシが出まして、個人では資格がないと罾を仕掛けられないので、とてもやりにくく困っています。印西市では、猟友会、資格、箱罾、銃の資格取得の費用の一部を補助してくれる仕組みになっているようです。成田市もぜひ、この状況ですと増え続けてしまいますので補助を出来たらお願いしたいと思えます。

【保立環境計画課長】

丸委員からお話のありました特定外来種対策・有害鳥獣対策につきましては、年次報告を見ていただきますと、環境部と農政課の共同で対応させていただいている事情がございます。ご提案などにつきましては担当課と協議したうえで、検討させていただけたらと考えております。ご提案ありがとうございました。

【本橋会長】

時間が迫ってまいりましたが、議題（３）につきまして、もう一つほど質問を受けさせていただきます。何かございますか。

【本橋会長】

では、議題（３）に関して質疑応答は終了といたしまして、次に、議題（４）の「２０１８（平成３０）年度 成田市一般廃棄物処理基本計画年次報告書について」更なる質問等ございましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。

無いようですので、次に、議題（５）「成田市役所エコオフィスアクション（第４次成田市環境保全率先実行計画）（平成３０年度）結果について」ご質問お願いいたします。

【入江委員】

それでは質問いたします。

温室効果ガス総排出量の中で、電気の使用量が基準年度より増えていて、平成３０年度にそれに対して株式会社成田香取エネルギーとの契約によって、いわゆる排出係数が低いと表現されていますが、具体的に成田香取エネルギーは自然エネルギーを使っているから低いということでしょうか。

【中里環境計画課主査】

ご質問いただきました、電気の使用量に関してですが、始めに使用量が増えた要因としましては、2018年度の記録的な酷暑がございまして空調の利用が増加してしまったなどがございます。

また、成田香取エネルギーについてですが、こちらは成田市と香取市の2市で出資して設立した会社でありまして、清掃工場による廃棄物溶融熱を利用した発電と、香取市に太陽光パネルを設置しておりまして、そちらの電力をもとにして一部供給を行っております。排出係数についてですが、数値といたしまして、東京電力が0.000468、成田香取エネルギーが0.000241となっております。おおよそ半分程度の排出係数で、こちらに電気の使用量を乗じて、CO2排出量を算出するようになっておりますので、そこが大きな差の要因となっております。

【本橋会長】

そのほかに。何かありますでしょうか。

無いようですので、最後に議題(2)～(5)のすべてを通して、更に何か質問がございましたらお願いいたします。

無いようですので、その他に移りたいと思います。その他に関しては各委員からもありますでしょうし、事務局からもあるかと思われます。まず、各委員からお願いいたします。

【林委員】

4月1日から、プラスチック製容器包装の回収が、隔週から毎週に変更になりました。このことについて、回覧・広報を含めて色々な情報が流れたようです。このようにする前に、四街道市と香取市でかなり効果があったということからこういう形になったと思いますが、実際に現段階で見込みに対する、状況・評価を、どのように捉えているかということと、コロナの時期ですから中々データも受け取れていないかもしれませんが、そのことを踏まえて今後どのように取り組んでいくのかということをお伺いしたいと思います。

ちなみに、私の住むところで、地区で隔週と毎週で違いがあるか見ていましたが、ほとんど同じように出ていましたので、けっこう情報としては伝わっているなというところがあったのですが、それについてどのように捉えられているのか。

【西宮クリーン推進課長】

プラスチック製容器包装の回収の動向についてですが、回収の想定量は、近隣市町村を参考に36%増加するという想定を立てさせていただきました。4月1日からの三か月間を昨年度の実績と比較しますと、32%増加で想定した回収量に近づいていると感じております。ですが、ごみ組成分析等の結果、ビニールや合成樹脂、ゴム、皮革類などの分類で33%ほどあるとの結果も出ており、プラスチックごみがまだ相当量可燃ごみの中に入っていると思われま

す。また、新型コロナウイルス感染症の関係で、在宅で過ごされる時間が多くなりプラスチック製の容器を使う機会が増えている状況ですので、適切な分別により収集量の増加に努めて参ります。

【林委員】

非常に成果があるということで、よかったですと思いますが、みんなが新しいシステムに変えてようになったということが、皆さんあんまり分からないと思いますね。実際出している側としては、そういう情報を広報などで、全体のごみの中で何パーセントという形で、データとして出されると思うのですが……。そういう、取り組みに対してどうなったというピンポイントで分かるものをもっと少し出していただいで、我々市民側でも、やったからこうなったのだと、まだ足りてないからこうしてほしいといった情報が加われば、では一緒にもう少しやろうとか、お互いに情報のフィードバックを図りながらいけるような気がするので、先ほども少しお話ありましたが、やはり繋がるような感じになればみんなでやらないとごみ問題って解決しないと思うので、是非情報を出すときに一工夫入れていただけるとありがたいです。よろしくお願ひします。

【西宮クリーン推進課長】

ありがとうございます。いただいたご意見を、先ほど申しあげました分別アプリで活用してまいりたいと考えております。

【本橋会長】

他にありますでしょうか。

【入江委員】

プラスチックのごみの回収について、ペットボトルとか発砲スチロールのトレーなどは、最近各スーパーでも回収していますが、あれは成田市の清掃工場に運ばれるのでしょうか。

【西宮クリーン推進課長】

スーパーなどで回収されております、ペットボトル、卵のパック、プラスチックトレイ、そちらにつきましては各事業所がそれぞれ取引しているルートに乗って再資源化しておりますので、成田市の清掃工場へ入ってきてはおりません。

【宮崎委員】

プラごみについて、さっき市長さんが言っていたかと思いますが、2022年からプラごみのリサイクルを向上するために、文具とか玩具(がんぐ)を今の白いごみ袋の中に入れるということになっております。成田市はこれが2022年以降となっておりますけども、いつ頃から対策しているかをちょっとお聞きしたいです。

【西宮クリーン推進課長】

プラスチック資源という新しい分別区分について、国で制度の構築をしていくと新聞報道等で行われております。具体的にどういった処理をしていくのかはまだ見えない状況ですが、収集につきましては市が行い、収集したものがどういった経路で流れていくのか、まだ見えておりません。

成田市においては、プラスチック製容器包装という分別区分をすでに設けておりますので、こういったものをどのように活用していくのか、現行の分別区分で行けるのか、あるいは変更していくのか、そういったことを中間処理の方法を見直す中で対応していきたいと考えております。

【本橋会長】

事務局の方で、議題(6)その他で説明することは。

【佐久間環境計画課計画係長】

質問事項の資料の12番目から16番目に記載してございますが、毎年作成しております冊子「成田市の環境」について、令和元年版の成果品を4月に委員の皆さんにお配りさせていただきましたところ、その内容等につきまして何点かご意見等を頂戴いたしました。こちらにつきましては、それぞれ回答の欄でお答えさせていただきましたが、修正すべき点や検討すべき点などにつきまして、内容の精査を行いまして、令和2年版の作成をする際にはできるだけ反映してまいりたいと考えて

おりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

次に、その他のご質問やご意見等につきましては、「質問事項」の17番目から19番目に記載させていただきましたが、こちらにつきましては、この書面の回答欄のとおりでございますので、ご確認いただければ幸いです。以上よろしく願いいたします。

【本橋会長】

事務局からのその他の説明に対して、何か質問はございませんか。

各委員からの質問は先ほどいただきましたし、そういう意味では本日の議題に関しては全て完了としたいと思います。

では、マイクを事務局にお返しいたします。